

平成27年度における「小中一貫教育」の推進について

須賀川市教育委員会

1 平成26年度の「小中一貫教育」推進状況

- 各中学校区及び各学校においては、これまでの小中連携に関する教育活動を見直しながら下記のような取組を進めてきた。

- ① 管理職や教務主任レベルの推進協議会の開催
- ② 生徒指導、学力向上等の担当者レベルの協議会の開催
- ③ 中学校教諭が小学校に出向き、音楽や体育、図工、英語（外国語活動）等の授業の実施
- ④ 中学校生徒会役員及び担当教員が小学校を訪問し、小学校6年児童を対象とした「新入生説明会」の実施
- ⑤ 部活動体験、合同ボランティア活動などの児童生徒の交流活動

- 各中学校区における管理職や担当者レベルでの協議会においては、「小中一貫教育グランドデザイン」の策定が進められ、次年度の「小中一貫教育」のねらいを踏まえた具体的な教育活動の計画づくりが進められている。

- ① 教育課題の洗い出しと目指す児童生徒像の策定
- ② 共通実践事項の確認
- ③ 教師の交流授業（小学校の教科担任制、中学校教師による授業）
- ④ 日課表の検討（リンクする時間の確保）
- ⑤ 現職教育等の研究テーマの共通設定の検討

- 各中学校区においては、引き続き、各中学校区の教育課題の解決のため、「小中一貫教育グランドデザイン」の策定を進めるとともに、具体的な教育活動の計画づくりを進めていく。

2 「小中一貫教育」の一層の推進について

- 平成26年度第4回校長会議において、今後の「小中一貫教育」への取組み視点として、下記の4点を示した。

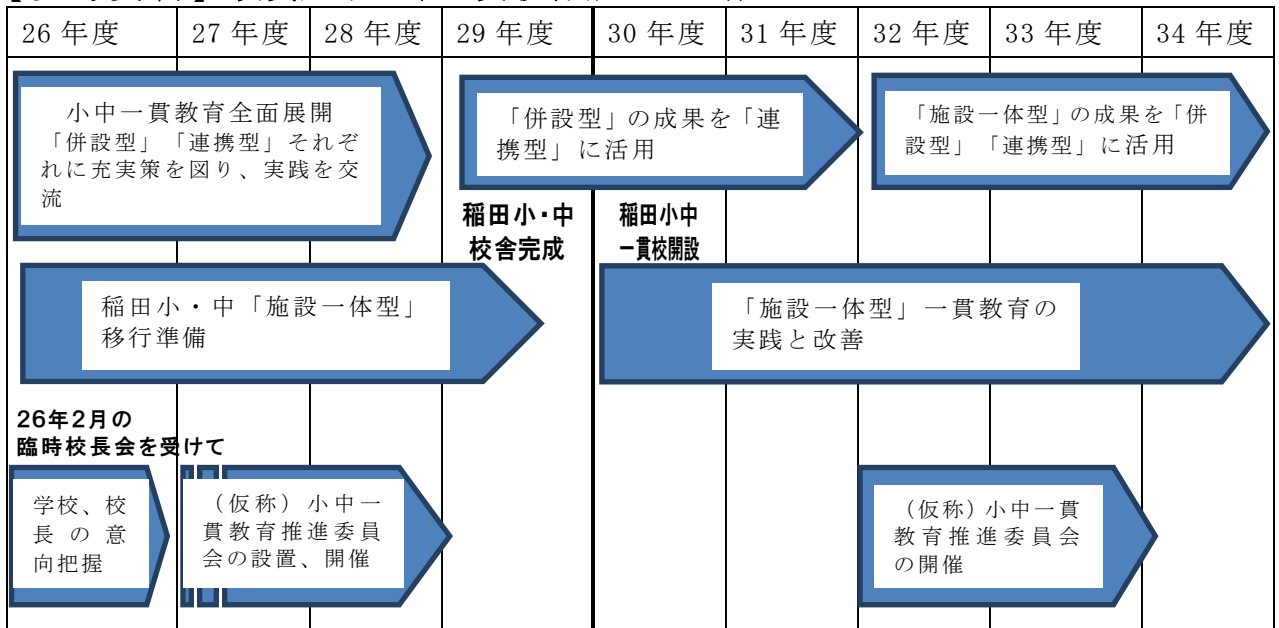
- (1) 各中学校区における「小中一貫教育グランドデザイン」を平成27年度中に策定する。
- (2) 「小中一貫教育グランドデザイン」に基づいた教育課程の編成を進める。
- (3) 自校の「小中一貫教育」の計画・実践・成果等を保護者や地域住民へ積極的に情報発信しながら、地域住民の協力を得る体制を早期に構築する。
- (4) 市教委の進行目標を踏まえ、自校の取組を検証する。

3 平成27年度における具体的な取組について

(1) 平成27年度における各学校並びに教育委員会の具体的な取組

	具体的な取組	実施時期
各 学 校	1 <u>各中学校区の「小中一貫教育グランドデザイン」の策定</u> (1) 各学校の「学校経営・運営ビジョン」への位置付けと実践 (2) 「小中一貫教育グランドデザイン」に基づいた教育課程編成に向けた研究推進	年間 ・4月～
	2 担当者連絡会議での具体的な計画づくり (1) 教育課題の絞り込みと共通実践事項の明確化 (2) <u>小学校高学年における実態に応じた教科担任制の導入</u> (3) <u>小・中学校の段階的、系統的なキャリア教育の計画的な推進</u> (4) 学校評価項目への位置づけ (5) 進行目標を踏まえたPDCAサイクルによる実践活動の検証	年間 各中学校区の 計画による 評価計画に よる
	3 保護者や地域住民への情報提供と協力体制の構築 (1) 自校の「小中一貫教育」の計画・実践・成果の情報発信	随時
	4 平成28年度以降の推進計画づくり	年間
教 育 委 員 会	1 小中一貫教育の推進 (1) 「小中一貫教育推進委員会」の設置及び開催 (2) 「小中一貫教育推進事業」予算の執行 ① 学校裁量予算の交付 ② 先進校視察、教育研修会等の実施	年間 ・5月 ・6月 視察先による
	2 各学校における教育実践に関する成果と課題の把握 (1) 教育実践の共有化と研究を深めるための担当者研修会の開催	・1月 ・4月～6月
	3 稲田小・中学校一貫教育に関する説明会の実施 (1) 稲田小学校校舎改築基本設計にかかる説明会 ① 教職員対象 ② 地域住民対象	(H27.3月に実施)
	4 市民への情報提供（ホームページ、広報誌等への掲載）	随時

【参考資料】須賀川市小中一貫教育推進の全体スケジュール



(注) 「須賀川市教育振興基本計画」は、主要施策について25～29年度、30～34年度で前・後半としている。

- ① 前半は、これまでの小中連携等の教育活動をもとに、「併設型」・「連携型」における小中一貫教育の充実と活動実践の共有化を図る。
- ② 後半は、「併設型」の成果を「連携型」へ、「施設一体型」の成果を「併設型」・「連携型」への活用を図りながら、小中一貫教育をさらに推進していく。